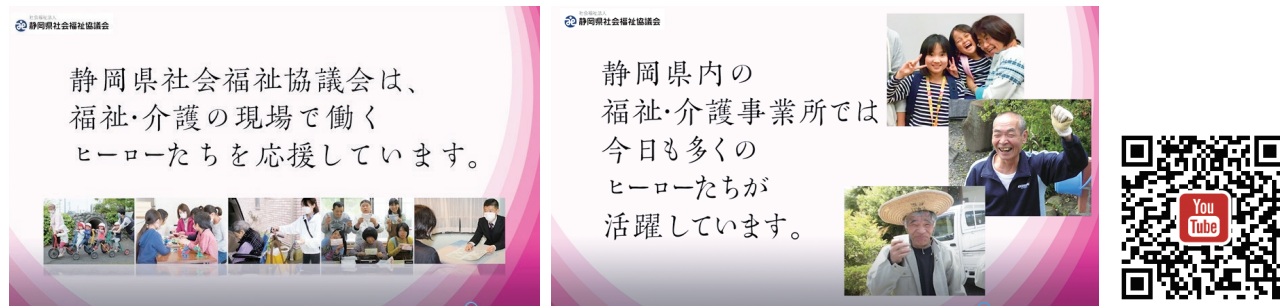


6 福祉現場応援メッセージビデオ「#福祉職にエールを。」の作成

私たちの日々の生活は、コロナ禍においてもエッセンシャルワーカーである福祉・介護職によって支えられていることを、県民の皆様に広く知っていただくとともに、福祉職にエールを送っていただくため、メッセージビデオを作成。(令和2年5月)
視聴回数 7,826回(令和2年9月末時点)



7 生活福祉資金 緊急小口資金特例貸付の実施

新型コロナ感染症の拡大の影響で、収入の減少、失業した方々の生活支援を目的に、生活福祉資金貸付事業において特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)を実施。

貸付受付は、令和2年3月25日から実施され、市町社会福祉協議会に加え、労働金庫(ろうきん)、郵便局でも受付を開始し、県社会福祉協議会が審査・決定・貸付を行う。

1 緊急小口資金(決定件数・金額) 令和2年9月末現在

単位:千円

	社会福祉協議会	労働金庫	郵便局	合 計
件数(件)	11,673	2,120	847	14,640
金額(千円)	1,939,800	397,530	161,958	2,499,288

2 総合支援資金(決定件数・金額) 令和2年9月末現在

単位:千円

	社会福祉協議会
件数(件)	2,768
金額(千円)	1,397,930

静岡県社会福祉協議会 入会の御案内

社会福祉協議会の会員制度は、会員のみが限定又は優先して、何らかのサービス提供を受ける対価性による制度ではありません。県民の生命と生活を守るため、地域福祉の推進に活用する制度です。
今後とも、皆様と手を携えて、誰ひとり取り残されることなく、生きがいを感じることできる『地域共生社会』の実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、是非とも御入会をお願いいたします。

入会のご案内はこちら↓



新型コロナウイルス 感染症への対応記録

～県民の生命と生活を守るために～

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

新型コロナウイルス感染症は私たちの生活を大きく変化させました。

かつて経験したことのない広範囲な社会・経済活動の停止は、個人や事業者の収入の減少、失業などを招き、高齢者や障害児者、児童のいる世帯はもちろん、多くの方々が困窮状態に陥っています。

また、福祉介護の現場では、極めて厳しい状況の下で、感染への不安と恐怖を感じながら、感染拡大防止に努めつつ、日々様々な生ずる生活課題・困難に向き合い、利用者及び家族の生活を守るため、全力を尽くしています。

このたび、新型コロナ禍における県民の生命と生活を守るために、静岡県社会福祉協議会が県民をはじめ関係機関・団体と協働して取り組んだ活動記録をまとめました。

静岡県社会福祉協議会は今後とも、皆様と手を携えて、「新たな日常」を支える地域共生社会の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。



ありがとう、福祉がある毎日。
#福祉職にエールを。



1 「新型コロナウイルス感染症への対応に係る県への緊急提案及び要望」の実施

- (1) 福祉・介護事業所、関係団体及び市町社会福祉協議会に対し、抱えている課題、行政への提案・要望事項等の緊急調査を実施(令和2年4月)
- (2) 調査結果を基に、以下のとおり主要事項を取りまとめ、県知事に対し緊急提案・要望書を提出(令和2年4月)

要望事項

- ① マスク等衛生用品の優先的な確保
- ② 福祉・介護事業所に対する支援
- ③ 福祉・介護職員の士気高揚
- ④ 新型コロナウイルス感染症への対応に係る情報提供
- ⑤ 風評被害の防止に向けた啓発
- ⑥ 生活福祉資金貸付の特例措置に係る対応



高橋常務理事から藤原県健康福祉部長に要望書を手交
(令和2年4月30日)

2 「マスク、消毒液等を必要としている福祉・介護事業所に届ける運動」の実施

- (1) マスク、消毒液などの寄附を県民や企業等に広く呼び掛けを実施
(令和2年4月～6月)

マスク総受領枚数	146,235枚
マスク寄附者総数	823個人・団体
消毒液総受領量	658リットル
消毒液寄附者総数	34個人・団体

- (2) マスク・消毒液を福祉・介護事業所へ配付(令和2年6月～8月)

- ア マスクの配付 福祉・介護事業所数
1,063箇所(配付数 146,235枚)
- イ 消毒液の配付 福祉・介護事業所数
56箇所(配付数 658ℓ)



花精化学工業(株)様は、消毒液を独自に開発し、ご寄贈くださいました。



第一生命(株)静岡支社様は、マスクケースを作成し、ご寄贈くださいました。

3 福祉・介護事業所の新型コロナウイルス感染防止対策事業に対し、助成金を創設

(1) 対象経費

- ア 面会や会議に係るオンライン環境の整備(タブレット端末等)
- イ 施設内の感染対策の環境整備
- ウ 業者による消毒作業
- エ 非接触式体温計、ビニールカーテン等の購入



(2) 助成額

- ア 助成限度額 申請事業所が県社協会員の場合10万円、非会員の場合は5万円
- イ 助成率 8/10

- (3) 助成実績 106箇所 6,681千円(令和2年5月～6月)

4 「社会福祉法人運営管理研修会」「社会福祉法人監事監査研修会」Web配信

新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、福祉・介護事業所支援の一環として無料で実施。

(1) 社会福祉法人運営管理研修

感染対策に必要な基本的知識や手法を学ぶとともに、福祉・介護現場に必要な新型コロナウイルス感染症に関する知識について情報提供することを目的に開催。
令和2年6月開催(受講者数…約300事業所・1,000人)

(2) 社会福祉法人監事監査研修会

監事監査における具体的なチェックポイント等を学ぶことにより、社会福祉法人の監事監査機能の強化を図ることを目的に開催。
令和2年4月開催(受講者数…約250事業所)



5 社会福祉施設における感染症発生施設への応援体制の構築(県委託事業)

新型コロナウイルス感染者が発生しても事業を継続しなければならない社会福祉施設などにおいて、新型コロナウイルス感染症の発生等により施設職員の勤務が制限され、施設運営が困難となった施設の事業継続を確保するため、県内施設の連携の下、職員派遣等の相互支援体制を構築。(令和2年8月～令和3年3月)

- ・関係団体、職能団体及び県関係部局で構成する検討会を設置